



ともに歩む

2025年7月1日 1号
カトリック土崎教会

発行者：エジルソン神父 tsuchizaki.joseph@gmail.com

～神様と、共同体と、日々の暮らしの中で～

【主任司祭よりご挨拶】

皆さま、改めてご挨拶いたします。
この4月より土崎教会の主任司祭として遣わされてまいりました、篠崎エジルソンです。

私は1983年、ブラジルに生まれました。両親はともに九州出身の日系人で、私自身は13歳の時に来日し、それ以来、日本で暮らしています。かつては自動車部品の工場や通訳の仕事を通じて社会の一員として働いていましたが、27歳のときに神の招きを感じ、神言修道会の門をたたきました。

2020年に終生誓願と司祭叙階の恵みにあずかり、最初の宣教地としてメキシコに3年間派遣されました。文化の違いの中で福音を伝える経験は、今も私の司祭としての歩みに大きな力となっています。2023年に再び日本に戻り、秋田教会で奉仕した後、このたび土崎教会の主任司祭として任命を受けました。

現在は教会での司牧に加え、聖霊学園高等学校にて週2回、宗教の授業も担当しております。

これからの歩みの中で、皆さま一人ひとりと出会い、共に祈り、信仰を深め合っていけることを心から願っています。

【『ともに歩む』創刊にあたり】

このたび、『ともに歩む』を始めることにいたしました。この便りは、私たちの土崎共同体が一つの信仰の家族として、ともに祈り、支え合い、歩んでいくための小さな一歩です。日々のミサや集いの中で、皆さんと顔を合わせ、お話しする機会もありますが、それだけでは皆さん一人ひとりの歩みに十分に寄り添い、心を通わせることには限りがあります。この便りを通して、少しでも皆さんの思いに近づき、互いの信仰の歩みを確かめ合うような時間を持てたらと願っています。

これからこの便りの中で、信仰生活のヒントや、今の時代をともに生きるキリスト者としての視点も、ときおりお届けしてまいります。これからも、主にある交わりを大切にしながら、ともに歩んでまいりましょう。

主にある喜びと希望をこめて



【ペロ岐部と187殉教者の 記念日に寄せて】

7月1日—この日は、日本の教会にとって特別な意味をもつ日です。私たちはこの日、ペロ岐部と187殉教者の記念日を祝います。まさにこの日に、この便りを始めることになったのは、神さまからの静かな導きであるように感じています。ペロ岐部の生涯には、二つの歩みが刻まれています。ひとつは、自分自身の召命を深く見つめ、それに従ってローマへと旅立った信仰の歩み。もうひとつは、困難と迫害の中でも、神への希望と信頼を決して失わず、殉教へと至った歩みです。その両方に共通しているのは、「神にすべてをゆだねる心」と「福音のために自らを捧げる決意」ではないでしょうか。この信仰の先人たちの証しは、今を生きる私たちにとっても大きな希望です。私たちの土崎共同体もまた、同じ主に呼ばれ、同じ希望に生かされている一つの家族です。日々の暮らしの中で、祈り、助け合い、信仰を分かち合いながら、神が望んでおられる道を「ともに歩む」ことができれば、それはまさに殉教者たちの信仰を今に生きることに他なりません。

この便りが、そのような共同体としての歩みにそっと寄り添うものとなればと願っています。私たちは、バラバラの個人ではなく、「キリストにおいて一つにされた家族」です。その確信のうちに、これからもともに、主の導きのうちに歩んでまいりましょう。



【聖霊の賜物とともに— 堅信を受ける兄弟姉妹を迎えて】

このたび、私たちの共同体の中から、2名の兄弟姉妹が堅信の秘跡を受けることとなりました。これは、彼らが洗礼によって始まった信仰の歩みを、より深く成熟させる新たな一步を踏み出す、実に喜ばしい出来事です。

堅信の秘跡において、受堅者は聖霊の豊かな恵みを受け、「キリストの証人」としてこの世界に遣わされます。その時、聖霊は特に「七つの賜物」をもって、受堅者の心に働かれます。これらの賜物は、ただ神との交わりを深めるためだけでなく、私たちが日々の生活において信仰を生きるための力でもあります。

聖霊の七つの賜物

1. 上知：永遠のものに目を向け、この世の価値を神の視点で見つめる知恵です。人間関係や人生の目的を、信仰に照らして考える力を与えてくれます。
2. 聡明：信仰の真理を深く理解する心を養います。聖書の言葉や教えが、単なる知識で終わるのではなく、心に響き、生活を変えていくものとなるよう導きます。
3. 賢慮：日々の選択の中で、善を選び、悪を退ける力を与える賜物です。私たちが良心の声に耳を傾け、誠実に生きるよう助けてくれます。
4. 勇気：信仰のゆえに困難に立ち向かう強さをもたらします。人の目を恐れず、キリストに従い続ける意志を支えます。
5. 知識：被造物を通して神の働きを見だし、この世における自分の使命

を知るための賜物です。学びや経験の中に、神の導きを見つけ出す力を与えてくれます。

6. 孝愛：神への敬いと、隣人へのあたたかな愛に生きる心を育みます。信仰は「神を愛し、人を愛する」ことに根ざしており、その愛を実生活に具体的に表す源となります。

7. 主への畏敬：神の偉大さといつくしみに対する深い敬意をもたらします。神をおそれるとは、恐怖ではなく、愛と謙遜をもって神の前に立つ姿勢を意味します。

日常生活における堅信の実りと具体的な活かし方

これらの賜物は、私たちが日々直面する課題や悩みの中で力となります。たとえば：

「賢慮」の賜物によって、SNSや友人関係でのトラブルに巻き込まれそうな時でも、冷静に状況を見極め、誠実な言葉を選ぶ力を得ることができます。

「勇気」の賜物は、いじめや不正に対して沈黙せず、正しいことを選ぶ強さとなり、声を上げる助けになります。

「孝愛」の賜物を通して、家庭でのちょっとした気遣いや、職場・学校での優しい言葉が、神の愛のあらわれとなっていくます。

堅信の秘跡は一度限りの儀式ではなく、生涯にわたって私たちを生かす恵みです。今回、堅信の恵みにあずかる兄弟姉妹が、聖霊の賜物を豊かに受けて歩んでいけるよう、私たち皆で祈りをもって支えていきましょう。そしてすでに堅信を受けた私たち自身も、改

めて自らの信仰と賜物に目を向け、その実りを日々の生活の中に見いだしていくことができますように。

【2025年 聖年巡礼のご案内 — 聖体奉仕会への巡礼と聖年ミサ —

今年2025年は、カトリック教会にとって特別な意味を持つ聖年です。聖年は、信仰を新たにし、回心と赦しの恵みにあずかる特別な年として定められており、多くの巡礼者が聖なる場所を訪れ、神とのつながりを深める機会とされています。

この聖なる年にあたり、8月17日（日）に秋田教会との共同に「聖体奉仕会」への巡礼を行います。

巡礼とは、神に向かって歩む信仰の旅です。聖年における巡礼は、特に深い霊的意義を持ち、信仰生活の刷新、教会の交わりの再確認、全免償（条件を満たした場合）、神のいつくしみへの信頼の深化のような恵みが与えられます。

◆ 巡礼の概要

日 時：2025年8月17日（日）

巡礼先：聖体奉仕会

共 催：土崎教会・秋田教会

ミサ：午後3時より「聖年ミサ」

◆ ご参加について

巡礼はどなたでも参加できます。参加を希望される方は、事前の申込みは不要です。ミサの時間に合わせて、直接聖体奉仕会へお越しください。

※【乗り合わせ希望の方へご案内】

車での移動が難しい方で、他の方の車に同乗をご希望の方は、当日午後2時に土崎教会駐車場にお集まりください。なお、車に乗る人数の調整のため、できるだけ7月31日までにご希望をお知らせくださいますようお願いいたします。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

皆さまのご参加を
心よりお待ちしております。

【新教皇：教皇レオ14世】

2025年5月8日、第267代ローマ教皇にロバート・F・プレヴォスト枢機卿が選出され、「レオ14世」として即位しました。アメリカ・シカゴ出身で、長年ペルーで宣教に携わってきた彼は、アウグスチノ会出身として初めての教皇でもあります。その歩みは、南北アメリカを結ぶ信仰の架け橋とも言えるものであり、カトリック教会の多様性を象徴しています。

彼の教皇名「レオ」は、1891年に社会問題に初めて本格的に踏み込んだ回勅『レールム・ノヴァールム』を発表したレオ13世に由来すると見られています。この回勅は労働者の権利や貧困、資本主義社会における倫理のあり方を問うもので、現代カトリック社会教説の出発点とされています。新教皇レオ14世もまた、気候変動、移民、格差、人権といった今日の重要な課題に対して、信仰に基づいた対話と実践によって応えようとする意志をにじませています。

注目すべきは、彼の選出が多くの「専門家」とされる識者たちの予想を大きく覆したという点です。事前には他の有力候補者の名前が多く挙がっており、プレヴォスト枢機卿の名前はあまり話題に上っていませんでした。この事実は、神の働きが人間の知識や計算をはるかに超えたものであることを、あらためて私たちに示しているように思われます。

世界の注目を集める新教皇レオ14世。その一步一步が、現代社会の中で信仰と真理を結びつける光となることが期待されています。



教皇レオ14世のための祈り

慈しみ深い神よ、私たちに新しい牧者として、レオ14世をお与えくださり感謝します。どうか教皇に知恵と勇気をお与えください。現代の複雑な課題に立ち向かい、弱い立場にある人々を守り、全ての人の尊厳が輝く社会を築くよう導いてください。

聖霊の光で教皇を照らし、キリストの教会を正しく治めることができますよう、そして全ての人が一つとなるよう、私たちの祈りを聞き入れてください。主イエス・キリストによって、アーメン。

【バザー出店者募集のお知らせ】

今年も教会バザーを開催することとなりました。それに伴い、当日ご出店いただける方を募集いたします。

出店をご希望の方は、8月3日までに、総務（齋藤駒男）までご連絡ください。

多くの方のご参加を心よりお待ちしております。皆さまのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。